

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月18日

計画の名称	既存施設の機能確保及び長寿命化対策の推進（防災・安全）緊急対策												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大阪府												
計画の目標	・経年変化に伴う老朽化に対して海岸保全施設の整備を行い、府民の生命と財産を防護する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,768	A	1,768	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	・平成30年度末において、全地区の長寿命化計画の策定を実施し、計画に基づき海岸保全施設の管理を行う。 長寿命化計画を策定する地区海岸数	0地区	34地区	34地区
2	・老朽化により、海岸保全施設の機能が確保されていない又は機能低下の恐れがあり、浸水被害が想定される面積の減少を目指す。 老朽化等により機能低下の恐れがある施設が破堤することで、発生する津波・高潮被害等により、浸水被害が想定される面積の減少	555 h a	343 h a	0 h a

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・老朽化調査により機能が確保されていない海岸保全施設は、老朽化対策工事を実施する。・大阪府国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業 A09-003（旧:A3）、A09-004、A09-005												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-001	海岸	一般	大阪府	直接	大阪府	老朽化	水国	泉州海岸堤防老朽化対策 緊急事業	長寿命化計画の策定及び老朽 化調査	岬町外						54	-	
		旧番号:A1																	
	A09-002	海岸	一般	大阪府	直接	大阪府	老朽化	港湾	堺泉北港海岸外海岸堤防 等老朽化対策緊急事業	長寿命化計画の策定及び老朽 化調査	堺市外						54	-	
		旧番号:A2																	
	A09-003	海岸	一般	大阪府	直接	大阪府	老朽化	港湾	阪南港海岸堤防等老朽化 対策緊急事業	水門(改良) N=1基、排水 機場老朽化対策 N=1基 堤 防等老朽化対策 L=460m	岸和田市外						1,240	策定済	
		旧番号:A3																	
	A09-004	海岸	一般	大阪府	直接	大阪府	老朽化	港湾	堺泉北港海岸堤防等老朽 化対策緊急事業	排水機場老朽化対策 N=1基	泉大津市						300	策定中	
		H30未策定																	
	A09-005	海岸	一般	大阪府	直接	大阪府	老朽化	水国	泉州海岸堤防等老朽化対 策緊急事業	排水機場老朽化対策 N=1基	泉大津市						120	策定中	
		H30未策定																	
											小計					1,768			
											合計					1,768			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪府（大阪港湾局）にて評価を実施	令和4年3月
	公表の方法
	大阪府ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化等により機能低下の恐れがある施設を修繕することで、津波・高潮等による浸水被害の恐れがある面積が減少した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防、護岸、胸壁および離岸堤等の沖合施設の初回点検と長寿命化計画策定を実施し、適切な維持管理を実施した。</li> <li>・水門改良1基、排水機場電気設備改良3基を実施することで、津波・高潮発生時の運転に対する信頼性・安全性が向上した。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の劣化による事故をゼロにするため、「予防保全型」の維持管理に取り組む。</li> <li>・平成30年5月に改訂された海岸保全施設維持管理マニュアルに基づき、水門・樋門・陸閘の土木構造物や排水機場の建屋等の初回点検を実施し、適切な維持管理を推進する。</li> <li>・阪南港海岸岸和田地区堤防等老朽化対策緊急事業について、現地精査に基づき対策箇所を見直し、対策不要箇所を除く要対策箇所の事業を完了した。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化計画の策定を実施	
	最終目標値	34地区
	最終実績値	34地区
2	令和2年度末において浸水被害が想定される面積の減少を目指す	
	最終目標値	0h a
	最終実績値	0h a

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

